

ALT授業

児童生徒の英語力を高めるため、ALTを配置して、外国語指導教育や国際理解教育を推進しています。

「自主性あふれる『みはまの子』を育てたい」

～コミュニティスクールの運営～

平成7年頃から尾呂志小・中学校は児童数の減少に直面し、統廃合が議題に上るようになっていました。しかし少子化で学校が無くなってしまった近隣地域の実状を見て、「地域から学校を無くすべきでない」と仲間たちと立ち上がり、学園の開校にこぎつけることができました。過疎地の小さな学園だからこそ、特徴ある学校づくりをしていかなければと思っています。

米づくりを通じた地域の人たちとの交流、福祉施設の方々とのふれあい、学園での体験の数々は、子どもたちの情操に計り知れない影響があります。子どもたちが優しくなりましたよ。

今後も地域の人たちやPTA、先生方と一緒に、主体性を持って運営していきたい。そんな環境の中から、自主性にあふれた「みはまの子」が育っていくと信じています。(コミュニティスクール運営委員会 会長)

「小・中学生が共に協力し合う学園」

～尾呂志学園での学校生活～



休み時間には小・中学生が一緒になって話したり遊んだりして、いつも楽しんで学校生活を送っています。小学生の笑い声が聞こえると、私たち中学生も楽しい気持ちになります。学校行事では小学生との交流を一つの目標にして取り組んでいます。田植えでは、小学生に教えるということが中学生の役割になっています。田植えまでの計画を立てて地域の人に見てもらい、ここを直した方がいいなどの指導を受けて計画を立て直します。去年は720キロ収穫できました。

餅つきでは地域やひかり園の人たちとも交流ができて、すごく楽しい一日を過ごせます。また、小中合同で尾呂志をきれいにする清掃活動もしています。小学生と中学生が一つ一つの学校行事を成功させるために、共に協力し合い頑張っています。(尾呂志学園生徒会のみなさん)



中央公民館文化事業

プロによる公演のほか、「御浜町ジュニアバンド」「御浜町町民文化祭」など地域サークルの発表の場でもある中央公民館。文化事業の企画・運営の手伝いは、町民から公募した文化ボランティア「アメニティスタッフ」が担当します。「住民の声を反映した事業を」との思いから、催しの内容はスタッフ会議での意見を取り入れています。

みはまスポーツクラブ

地域住民の健康増進、青少年の健全育成、世代間の交流を目的とした会費制・自主運営の地域のスポーツクラブで、幼児・小学生からシニアまで元気よく楽しんでいます。入会するとどの教室にも参加できるのでいろいろなスポーツが楽しめます。



わがら元気塾

高齢者が学習の場に参加し、これまでの人生経験により習得した知識や技能を学校の児童生徒や地域の人々の学習活動を援助するための指導などに役立ちます。



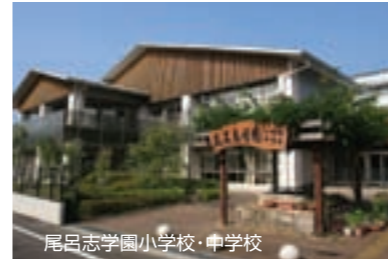
神志山小学校



御浜町小学校



阿田和小学校



尾呂志学園小学校・中学校



尾呂志学園米づくり体験学習

地域の方々の指導を受けて、小・中学生が協力しあい、育苗から収穫まで米づくりのすべてを体験学習します。初めて田植えをする児童も先輩の中学生に教えてもらいながら、丁寧に苗を植えていきます。



御浜中学校



阿田和中学校



中央公民館



少子化が進み、人と人とのつながりが希薄になっている現代。子どもたちの教育環境も大きく変化しています。御浜町では一人ひとりの個性と創造性をはぐくむ教育を進めており、外国語指導助手(ALT)を配置した英語教育など、社会環境やニーズの変化に応じた試みにも積極的に取り組んでいます。地域の人々との交流を通して連帯感を生み出し、地域づくり、人づくりにつなげていく。そんな試みの1つが三重県初の小中一貫校として開校した尾呂志学園です。「地域の子どもは地域で育てる」という理念のもと、地域住民が学校の運営に積極的に関わっており、平成20年5月にはコミュニティ・スクールの指定を受けました。中央公民館を中心とした文化活動も活発です。生涯学習 生涯スポーツの場の提供にも努め、人とのふれあいを通じて豊かな心をはぐくむまちづくりをめざしています。

豊かな心をはぐくむ
他所に負けへん、
みはまの子を育てるのが
わたしらの生きがいなんですわ。